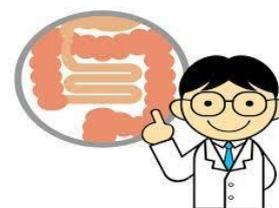


便潜血検査



便潜血検査とは、便の中の目に見えないほんの少しの血液を調べる検査です。自宅で便の表面を擦って採取するだけの簡単な方法で、大腸がんのスクリーニング検査として用いられており、1日法と2日法があります。

検査方法

ヘモグロビン(血液の成分)に対する抗体を使用して潜血の有無を調べます。食事制限はありません。この方法は、下部消化管の出血の検出に向いています。連続2日検査すれば、進行がんでは90%、早期がんでは50%が発見できるという報告があります。

陽性だったら・・・

おもに大腸以後の消化管で出血しているということです。大腸がん、大腸ポリープ、炎症性腸炎などが疑われます。また、痔でも陽性になります。2次検査としては、大腸内視鏡検査をします。

便の採取のしかた

便の表面のいろんな所をまんべんなくこすります。量はスティックの先の小さな溝が埋まるくらいで大丈夫です。多く取りすぎると、正しい結果が出ません。

採った容器の保管のしかた

便の中の血液は、高い温度に置いたり長い時間置いておくと減少してしまいます。採取した容器は早めに検査科へ提出してください。また家での保管は、日陰で冷たくひんやりした所でお願いします。保冷剤をいれた発泡スチロールの箱や、冷蔵庫が適しています。

当院では採取後1週間までの提出をお願いしています。



増え続けている大腸がんの患者数を減らすためには、定期的排便潜血検査を受け、早期発見・早期治療が重要です。40歳を過ぎたら毎年大腸がん検診を受けましょう！



<栄研化学ホームページより>

杏雲堂病院検査科